



カケハシ・プロジェクト（招へいプログラム）の記録 対象：スポーツプログラム（米国）

1. プログラム概要

米国から大学生の水泳選手 3 名が 2020 年 1 月 15 日～1 月 22 日の日程で来日し、日本の政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策などの対日理解促進を目的として、スポーツをテーマとしたプログラムに参加しました。講義、視察、日本人との交流などを通じて幅広く日本を理解する機会を持ち、各々の関心事項や体験について SNS を通じて对外発信を行いました。また、帰国前の報告会では、訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）について発表しました。

【参加国・人数】

米国：3 名

【訪問地】

東京都、福島県

2. 日程

1/15(水)	【来日】
1/16(木)	【オリエンテーション】 【視察＋講義】日本水泳連盟（於：国立スポーツ科学センター） 【スポーツ交流】東海大学
1/17(金)	【視察・体験】東京辰巳国際水泳場 東京都から福島県に移動
1/18(土)	【視察】大内宿 【スポーツ体験】スノーモービル 【ホームステイ対面式】
1/19(日)	【ホームステイ】
1/20(月)	【ホームステイ歓送会】 【ワークショップ（報告会準備）】
1/21(火)	【視察】櫻泳スイミングスクール白河・エグナススポーツクラブ 福島県から東京都へ移動 【成果報告会】
1/22(水)	【離日】

3. プログラム記録写真



1/16【オリエンテーション】



1/16【スポーツ交流】東海大学



1/17【視察・体験】東京辰巳国際水泳場



1/18【視察】大内宿



1/18【スポーツ体験】スノーモービル



1/21【成果報告会】

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ 学校交流（東海大学水泳部）とホームステイの経験は非常に興味深いものでした。都市、田舎、そして米国との明確な生活スタイルの違いがわかりました。

◆ 国立スポーツ科学センターでの講義では日本の技術がいかに進歩しているかということが分かり、プログラムで一番印象に残りました。日本のアスリートは技術的に優れ、きめ細かい事が評価されますが、そのことが訓練施設に反映されていました。東海大学水泳部との学校交流では、訓練上双方にとって収穫が多く、刺激的でした。水泳部の皆さんが大いに歓迎してくださり、共に学び、練習することができ、とても楽しいひとときをすごしました。訪問した外務省庁舎は立派な建物で、安全な雰囲気がありました。ホームステイは、正に一生に一度の経験でした。ホストファミリーといると、まるで自分が家族の一員であるかの様に感じられました。文化の違いや言葉の壁があるにも関わらず、ホストファミリーはとても寛容で、言語の壁があるのにもかかわらず私が快適に過ごせるよう丁寧に対応してくださいました。ホストファミリーと絆を築けたと思いますし、またすぐにでも訪日したいです。

◆ 残念ながら（来日して間もなく）体調を壊したため、講義や学校交流などのプログラムには参加することができませんでした。外務省に訪問した時はセキュリティも良く、お会いした職員の方々が歓迎してくださり、礼儀正しく接してくださいました。ホームステイも体調不良のため断念せざるを得ませんでしたが、ホストファミリー宅にお邪魔することができました。餅つき祭りに参加したり、浴衣を着たりと本当に楽しい経験をしました。また、折り紙を作ったり、ホストファミリーとの会話も楽しみました。とても歓迎してくれて、私たちに対してとても我慢強かったです。滞在中体調を壊していたので都内で病院に行き、経過観察のため南会津町でもう一度診療所を訪れました。日本の医療はアメリカの医療と比べて対応が信じられないほど迅速で、費用も手ごろでした。訪日中私の回復をサポートしてくださったことにとても感謝しています。

5. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 視察受入れ担当者

米国大学生の笑顔やスイミングスクール会員の楽しそうな表情を見ると、満足感でいっぱいです。それぞれの選手たちの今後の活躍を期待したいと思います。

◆ ホストファミリー

受け入れた学生は、とても人柄が良く、私達も安心して受け入れることができました。今年は雪が少ないため喜ばせてあげられるのか心配しましたが、学生たちは、スキーや浴衣の着付け、餅つき等を楽しんでくれて嬉しかったです。

6. 参加者の対外発信

 @2kakehashi19 ありがとう！It was such a fun experience wearing our yukata and walking to the 神社！Our home stay family was amazing. #kakehashiproject #kakehashi2019 #kakehashiaward #jice #japan #usa	 2kakehashi19 alyssa.mencele が「いいね！」しました 2kakehashi19 This morning we stopped in Shirakawa to join a women's swimming class at Ouei Swimming School! We were also filmed and interviewed by a TV station! It was such a fun and heartwarming experience to be able to swim with this group of women! Health and wellness are highly valued by people of all ages in Japan and it was great to hear about the incredible impact that this swimming school had on their community.
ホームステイについての発信 (Instagram) ありがとう。ゆかたを着て神社を歩いたことはとても楽しい経験でした。私たちのホストファミリーは素晴らしい方々でした。	視察についての発信 (Instagram) 今朝、私達は白河に立ち寄り、櫻泳水泳スクールの女性水泳教室に参加しました。また、テレビ局の取材とインタビューも受けました。日本のあらゆる年齢層の人達と一緒に泳ぐことができ、とても楽しく心が温まる経験でした。このスクールがコミュニティに及ぼした素晴らしい影響についてのお話を聴くことができ良かったです。

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

	Action Plan - Why: We want to display the wonderful aspects of Japanese culture and all of our memorable experiences in Japan's countryside with our host families. We want to show people in the U.S. details and nuances of Japanese life and culture that would otherwise be unknown. We also want to establish better relations and understanding between U.S. and Japan. - When: post on social media within two weeks following departure from Japan, meeting within 2-3 months on our university campuses - Who: Nick, Yifan, Lara	
目的：日本の文化と田舎でホストファミリーと過ごした思い出に残る経験の全てを広める。米国の人に知られていない日本の生活，文化の詳細を見せるため。日米間のより良い関係を築き，より良く理解するため。 実施時期：日本から帰国後，2 週間以内に SNS に投稿する。2～3 か月以内に大学のキャンパスでミーティングを行う。 実施内容：滞在に関する沢山の写真と詳細情報のプレゼンテーションを行い，人々に日本に行くことを勧める。SNS に投稿する。 実施方法：コーチに手伝ってもらい，また水泳部の人々に集ってもらい，プレゼンテーションする。キャンパスで行われる他のイベントでもプレゼンテーションする。Instagram と Facebook での写真や経験の投稿を継続する。 対象：クラスメイト，チームメイト，教授，友人，家族		